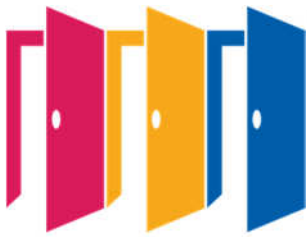


季刊



ロータリーは機会の扉を開く

RI会長 ホルガー・クナーク



事務所 飯田市鈴加町2-21 齊藤ビル2F
TEL 52-5757 FAX 49-8760
例会日 毎週火曜日 12:30~13:30
第二火曜日のみ 18:30~19:30
例会場 シルクホテル TEL 23-8383
会長 水野隆志
幹事 小林義尚
URL <http://www.iidaeast-rc.com/>
<https://www.facebook.com/iidaeast.rc/>

令和3年8月発行 飯田東ロータリークラブ会報 35期-4季 No.132

最終例会(2021.6.29)



6月29日 第35期最終例会が開催されました。来賓に元下伊那農業高校インターアクトクラブ顧問の北原先生 塩澤先生にご出席いただき、さつき会の皆様と合同での開催となりました。

先生方からは、コロナ禍の影響でインターアクトクラブの皆さまとの交流もなかなか厳しい年度ではありましたが、リーダ研修としてSDGsセミナーが無事開催でき、さつき会の皆様とワークショップを楽しく体験できたことや、コカリナ演奏などこれまでの活動の思い出を伺うことができました。北原先生、塩澤先生これまで本当にありがとうございました。最終例会後の懇親会は、コロナウイルス感染対策を実施した中で開催され、木下会員の会社のおいしいドライフルーツはじめ素敵な商品があたるビンゴゲームで盛り上がりました。親睦委員会の皆さまありがとうございました。会場のテーブルには、片桐会員宅の立派なビワの木(実)が飾られ、目とおなかを楽しませていただきました。

大変寂しいことではありますが、この例会をもって小池会員が退会されました。これまで26年にわたり飯田東ロータリークラブを支えていただきありがとうございました。

そして、水野会長、小林幹事 1年間本当にお疲れ様でした。ありがとうございました。

4月29日シルクホテル駐車場での例会



4月29日（木）、楽しみにしていた植樹例会。あいにくの天候となり、急遽シルクホテル駐車場での例会に変更となりました。

植樹例会といえば、コロナ禍前は、下伊那農業高校のインターアクトクラブの皆さんとご一緒に、楽しく過ごす例会だったと伺っておりますが、昨年度に引き続き実施が叶いませんでした。

しかしながら、事前調査・準備をくださった久保田社会奉仕委員長、菜花職業奉仕委員長、お食事の段取りをくださった中田会員、そして

さつき会の皆さまのおかげで、思いもよらないアウトドアでの例会となりました。皆さま本当にありがとうございました。記憶に残る例会だったのではないのでしょうか？そして、日を改めて伐採作業をくださった皆様ありがとうございました。第36期の植樹例会も皆さんといい時間が過ごせるといいですね。



おいさが伝わるでしょうか、絶品の豚の丸焼です→

外部卓話(5月29日シルクホテル)

5月25日（火）当年度第2回目の外部卓話が開催されました。

講師は、信南交通(株)地域観光事業部企画課長であり天竜鷺龍峡復活プロジェクト代表の曾根原宗夫さん。

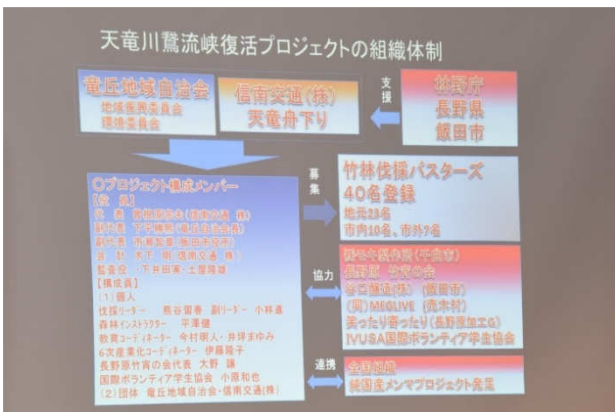
船頭のお仕事をされながら、考えたのが舟下りをお客様に楽しんでいただくためにはスリルももちろん、景色を楽しんでいただくことが大切。その楽しんでいただくはずの景色が竹林に覆われ、季節感がなくなり、暗い日陰になり、ごみ捨て場に・・



この状況を改善するにはどうしたらいいのか？という発想から、竹林の整備できれいになったら、ごみが捨てられないのでは？伐採した竹を楽しく使えないか？と楽しみながら、行動することで仲間が増え、さらに新たな発想につながりとプラスのスパイラスがつながっていかれたそうです。

自分自身が楽しむことで、仲間が広がり、またその仲間が更に広がり幅広い活動につながっていく興味深いお話を頂戴しました。

詳しくは第1571例会 WEEKLYをご覧ください。



みんなの卓話（5/18 シルクホテル）



PCR検査について

コロナ禍で経験したPCR検査のお話を頂戴しました。
検査の状況や検査方法など光景が目には浮かぶようなお話で、話を伺っていた全員が早くコロナが収束することを祈る気持ちだったのではないかと思います。
この季刊誌発行時期である8月 飯田市では、簡易検査キットの無料配布もされており、ワクチン接種も進んできておりますが、感染症対策をしっかりとしながら過ごしたいと改めて認識した卓話でした。

←近藤克彦会員

人生100年時代 来た道を振り返る

人生100年時代。年男の今年、高村幸太郎の「牛」という詩が頭に浮かんだとのこと。牛はのろのろ歩く。牛は野でも山でも道でも川でも自分の行きたいところへ真っすぐに行く。ひと足、ひと足自分の道に行く。

人生の原点は東京での5年間。若い時は傾向が偏り、ずいぶんと得ましたが損もした。反省もし、軌道修正も試みるが、元のまま。自分の歩いてきた道を振り返ると「不器用な人生」と表現された。「老後の一日、千金にあたるべし」今現在を大切に、人生を楽しく生きることを考えねばならないと思うと締めくくられました。

小池精治会員→



自己紹介

浅草生まれの飯田育ち。高校時代にカナダへ留学。人見知りの性格もこれを機に変わり、「とりあえずやってみる」ということを学んだそうです。
卒後は関東で6年間過ごし、その後飯田に。ストレスで体調が良くなかったことをきっかけに東洋医学や日本の漢方を学び自分や家族、周囲の方にその知識を伝えていきたいと考えているそうです。辛いだけじゃないうちの韓国料理を知ってほしいとお店を構えられ、ヘルシーで子供や年配も食べれることを少しずつ知っていただき嬉しく思っているとこのことです。そして、母として、子供や学ぼうとしている人の力になりたい、一緒に喜びや知識を分かち合える場所で誰かのためにと行動に移すことができ幸せに思っていると話されていました。

←井上梢会員

クラブアッセンブリー(6/22 シルクホテル)



SAA・青少年奉仕委員会

- ・いざ仕切ってみると本当に大変で反省ばかり。
- ・コロナ禍で事業が中止となる中、各高校の活動報告集の作成、SDG s 研修開催

関係者の皆さまありがとうございました。

←片桐信親委員長



ニコニコBOX委員会 米山記念奨学会

- ・ほぼ目標額達成。ボーイスカウト、飯田市歳末助け合いとして寄付
- ・米山記念奨学会セミナー4月に参加。戦争があり、日本として、国際奉仕として何ができるのかという背景があった。

←宮嶋徹委員長



会員増強・親睦委員会

- ・今期新入会員 4 名 準会員制度やメンター制度の創設や若い会員も増えて世代間バランスも幅広くなり、新規獲得の環境が整ってきた。
- ・最終例会でビンゴ大会開催

←後藤高一委員長



CLP委員会・幹事

- ・コロナ禍の影響で思い通り通りにいかないが、何かしらの方法が模索できたのではと心残り。
- ・新入会員の方へのロータリーの良さを伝えられず残念。社会奉仕活動としてこどもの森公園への贈呈ができ良かったと思う。

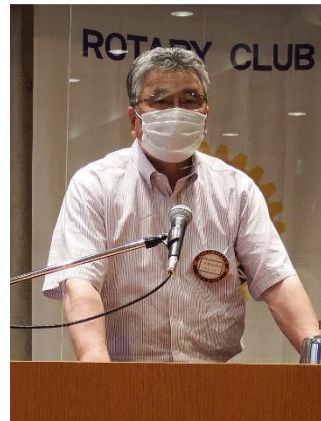
←小林義尚幹事



職業奉仕委員会

- ・11/17木下会員の会社へ職場訪問。お世話になりました。
- ・4つのテストは重要な人間の生き方が凝縮されている言葉ではないかと思う。人を感じる心、平等など、自問自動を繰り返している。これからも成長していきたい。

←菜花義一委員長



社会奉仕委員会

- ・松川入り植樹例会は雨で中止となり、インターアクトの生徒たちとの例会ができず残念。ただし当日は例会を兼ねて親睦を図ることができ有意義だった。

←久保田和彦委員長



奉仕プロジェクト

- ・職業奉仕委員会、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会、青少年奉仕委員会の4つの委員長さんありがとうございました。一定の成果が上げられたと思っています。

←小池精治会員



プログラム委員会

- ・コロナ禍の中、なんとか計画したプログラムを実行できたと思う。特に会員増強検討会5回、新入社員卓話の実施ができよかった。

←下田一則委員長



クラブ広報委員会

- ・各種メディアを活用した取り組みとして、HPの充実（例会から各種イベントの活動記録等更新）、FaceBookの活用、季刊誌の発行に取り組みました。ご協力ありがとうございました。

←中澤みどり会員



水野会長

「新しい会員を増やし、更なる元気で楽しいクラブにしましょう」と活動準会員制度設立により4名の新入会員増員、間伐材利用の玩具贈呈と実施。小林幹事を中心に役員・委員長皆様に感謝申し上げます。

本誌に掲載の活動は、各文面に記載のWeeklyの他、当クラブホームページ、Facebookでもご覧いただけます。

➤ ホームページ



<http://www.iidaeast-rc.com/>

「今までの活動記録」

➤ Facebook



<https://www.facebook.com/iidaeast.rc/>

飯田東ロータリークラブ 検索